

## 平成30年度「みえの現場 “やっぱし” すごいやんかトーク」(尾鷲市) の概要

平成30年8月22日(水)おわせ暮らしサポートセンターにて「みえの現場 “やっぱし” すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「NPO 法人おわせ暮らしサポートセンター」の皆さんから、尾鷲市の魅力や、移住定住の実現をサポートする活動についてお話を伺いました。



自己紹介、団体の活動概要の紹介の後、知事とフリートークを行いました。

### 【参加者からの発言】

**Q 尾鷲市の地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください。**

○田舎に行きたい、起業したいと考える中で、地域おこし協力隊への参加は、起業の準備もできて田舎暮らしもできる、都会ではできないチャレンジができるという点で最適な選択肢だと思いました。

○父が自分で空き家を改修し別荘として所有していたこともあり、子どもの頃から空き家の存在が身近に感じられる環境でした。近年はDIYやリフォームがテレビなどで取り上げられ、空き家が生まれ変わるのを見てビジネスに繋がると考えていたところ、空き家や移住に関わる地域おこし協力隊の現地見学会があることを知り、参加しました。まさに「縁とタイミング」が一致して尾鷲を選びました。

○空き家バンクは、多くの自治体に取り組んでいますが、尾鷲市では自治体の枠を越え、NPOを設立しようとしていることを知り、この先が楽しみだと思い尾鷲に決めました。

○尾鷲市は、いろんなマンパワーを持った地域おこし協力隊員が活躍できる場だということを聞きました。ここなら他の地域では経験できないようなことができるのではないか、という期待が強まり応募しました。

○偶然、釣りで尾鷲を訪れ、良い所だという印象が強く残りました。地域おこし協力隊に対しては、初めは良いイメージを抱いていなかったのですが、実際に現地で話を聞いてみると、想像以上の活動と大きなプロジェクトをされていて、まさに「すごいやんか！」と感じました。海と山に近い場所に工房を持ちたいという想いともマッチし、尾鷲に来ることを決断しました。

○都会出身で、田舎と古民家への憧れがあり、古民家に住めるという条件に引かれ、応募を決めました。今は尾鷲の良質な空き家を、継承・保存・再生していきたいと思っています。

**Q これまで活動してきてよかったことを聞かせてください。**

○衰退著しい地域ではありますが、それゆえに、地域のために本気で行動している人が多いです。その方々から日々刺激を受け、視野が広がりました。

○与えられたミッションをこなすだけでなく、メンバー間で話し合って事業を行い、自分が挑戦したい事を実現できる環境がここにはあります。想像していたよりも楽しいことを経験させていただいています。

○困る事があっても市役所の方々のサポートがあり、思い切って踏み出せる環境です。

○尾鷲は、海もあって山もあって、魚も美味しい素晴らしい場所だと思います。また、過ごしやすい気候や住民の方々の人柄は大きな魅力です。

○空き家バンクは、大家さんと借りたい人・買いたい人をマッチングするだけでなく、空き家に自分たちが手を加えることで、さらに多くのニーズに応えられる物件になります。それがやりがいでもあり、今の尾鷲の強みだと思います。

**Q 今後の活動や、それに向けての課題について聞かせてください。**

○登録有形文化財である大きな家屋を、人が集まって話し合いをしたり、パソコンを使って作業のできるワーキングスペースにしたいと考えています。

○先日、漁村暮らしの擬似体験ができる宿「三木浦ソワイ」をオープンしたので、運営を軌道に乗せていかなければと思っています。

○これまでの地道な活動を継続させていくことが大切だと思います。

○今後は、定住にも力を入れていきたいです。移住者、定住者を増やしていくためには、家だけでなく仕事も提供していく必要があると考えています。

○今後もさらに空き家再生の実績を伸ばしていきたいと思っています。そして、自分たちの空き家バンク運営のノウハウを他の市町にも共有し、尾鷲のみならず、三重県全体にも影響力を持つような存在になりたいと思っています。それが尾鷲の活

性化と三重県全体の活性化、日本の活性化につながると考えています。

### 【市長の発言】

○皆さんはこの仕事にやりがいを感じていて、単なる空き家バンクの活用だけではなく、これをベースとして次の事業につなげていけると思っています。

○主体は協力隊員や市民であり、尾鷲市の職員は協力を強めながら一緒になって仕事をしていきたいです。

### 【知事の発言】

○人生において大きな決断が必要な移住や空き家活用において、全国上位の実績を残しているという成果が出ているのはすごいことで、それは、その方法が正しく、適切なフォローができている証拠だと思います。三重県だけでなく、全国のモデルになる素晴らしい取組だと感じました。

○皆さんが尾鷲市に来て感じた新鮮な感動や尾鷲の良さを、地域の方々に伝えてあげてほしいと思います。そこで暮らしていると当たり前になり、気付かないようなちょっとした幸せを、ぜひ表現してあげてください。それが、定住やUターンにつながっていくかもしれません。



「NPO 法人おわせ暮らしサポートセンター」は、空き家バンクや移住体験住宅の運営、移住情報の発信、継業支援など、尾鷲での「自分らしい生き方づくり」の実現をサポートする活動をしています。自分の特技や経験をいかし、暮らしと仕事をデザインした定住移住の提案をしています。